

サントリー

サントリー美術館で「高野山開創1200年記念 高野山の名宝」展を開催
 運慶による国宝「八大童子像」を全駆展示

サントリー美術館は今年10月11日から12月7日まで「高野山開創1200年記念 高野山の名宝」展を開催する。

唐で密教を学んだ弘法大師・空海は密教修行の根本道場とするため、弘仁7年（816年）に勅許を得て高野山を開創。以来今日まで、高野山は日本仏教の聖地の一つとして、さらに空海を慕う人々



弘法大師坐像(萬日大師)

の憧れの地として時代と宗派を超えた信仰を集めてきており、それを証明するように山上には「山の正倉院」とも例えられるほどの文化財の宝庫が形成され、なかでも核となる仏教芸術は日本最大規模を誇っている。

この高野山が平成27年（2015年）に開創1200年の節目を迎えることを記念し

て、サントリー美術館では高野山に伝わる至宝の数々を公開する同展を開催するもので、開創にかかわる空海ゆかりの宝物



国宝 諸尊仏龕

延暦16年（797年）、24歳の時に「龍誓指帰」を著して仏道修行に身を投じた空海は唐に留学して当時最新の体系的な密教を学び、帰国後、平安京に程近い高野山寺（現在の神護寺）などを拠

点にして都に密教を広め、嵯峨天皇からも厚い信頼を得ていた。その一方で、密教修行の理想の場所として世俗を離れた深山清涼の地である高野山を探し求め、朝廷に願い出て真言密教の根本道場とし、この地を中心に密教の普及と確立に努め、真言密教の基盤を作った後、承和2年（835年）に高野山の地に入定しており、第1章では国宝「諸尊仏龕」をはじめ高野山に伝わる空海の遺品や高野山開創

から豊麗な密教美術の原点ともいえる請来の品、真言密教の教理に基づく仏像、仏画など普段は山上にあって重厚な信仰の歴史を物語る至宝一堂に展示する。展示構成と主な出品作品は次のようになっています。鎌倉時代、仏教彫刻界に新風を吹き込んだ仏師・運慶による国宝「八大童子像」を全駆揃って鑑賞できる貴重な機会となるという。

【第1章 大師の生涯と高野山】

国宝 龍誓指帰



に關わる宝物を紹介する。

〈主な出品作品〉「弘法大師坐像（萬日大師）」（二軀、室町・桃山時代、16〜17世紀、金剛峯寺）、「国宝 龍誓指帰 空海海筆」（二巻、平安時代8〜9世紀、金剛峯寺、展示期間・上巻10/11〜10/20、下巻10/22〜10/27）、「国宝 諸尊仏龕」（二基、唐時代8世紀、金剛峯寺）、「重要文化財 丹生明神像・狩場明神像」（二幅、鎌倉時代、13世紀、金剛峯寺、展示期間・11/5

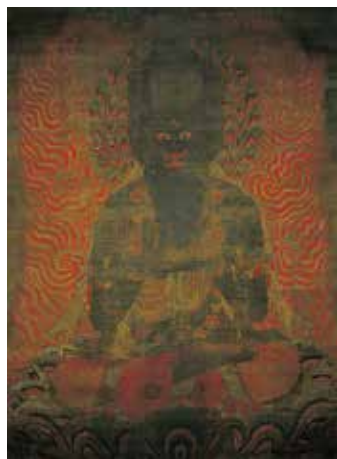


国宝 八大童子像

〈主な出品作
品〉「重要文
化財 大日如
来坐像（二軀
平安時代、仁
和3年・88
7年、金剛峯
寺）、「国
宝 五大力菩
薩像」（三幅
平安時代、10
11世紀、有
志八幡講十八
箇院、展示期
間 金剛吼菩薩

薩・10/11（11/3）、「重要
文化財 不動明王坐像」（二軀
平安時代、12世紀、金剛峯寺）、
「国宝 八大童子像 運慶作」
（八軀、鎌倉時代、12世紀/
一部、南北朝時代・14世紀、
金剛峯寺）、「重要文化財 孔雀
明王坐像 快慶作」（二軀、鎌
倉時代、正治2年・1200
年、金剛峯寺）

【第3章 多様な信仰と宝物】
高野山は奥の院参道に立ち
並ぶ数多の供養塔にも表れて
いるように開創以来、天皇、



国宝 五大力菩薩像（金剛吼菩薩）

綿と受け
日まで連
文化遺産
として今
えのない
はかけが
るそれら
の証であ
り、信仰
れるほどの文化財の宝庫とな
より、「山の正倉院」と呼ば
の宝物が持ち込まれたことに
い寺院から戦乱を避けて多く
されてきた高野山には都に近
離れ、世俗の
さらに都から
生み出した。
な仏教美術を
に基づく多様
ととともに信仰
品を寄進する
まな美術工芸
人々はさまざま
信仰を集め、
人々から篤い
ゆる階層の
庶民などあら
公家、武将、



国宝 澤千鳥螺鈿蒔絵小唐櫃

継がれてきており、第3章で
は国宝「澤千鳥螺鈿蒔絵小唐
櫃」などの工芸品や近年新た
に重要文化財に指定された快
慶作の「執金剛神立像」など
を紹介する。

〈主な出品作品〉「釈迦誕生
図」（二幅、鎌倉時代、13世紀、
金剛峯寺）、「重要文化財 四
天王立像 快慶作」（四軀、鎌
倉時代、12〜13世紀、金剛峯
寺）、「重要文化財 執金剛神
立像 快慶作」（二軀、鎌倉時
代、12〜13世紀、金剛峯寺）、
「国宝 澤千鳥螺鈿蒔絵小唐
櫃」（二合、平安時代、12世紀、
金剛峯寺、展示期間・10/11
11/3）、「重要文化財 花
蝶蒔絵念珠箱」（二合、平安
時代、12世紀、金剛峯寺）

（11/17）、「重要文化財 即
身成仏品」（一巻、平安時代、
9世紀、金剛峯寺）
【第2章 高野山の密教諸尊】
空海は密教の教えは深奥な
ため経典・経論などの文字に
頼るだけでは理解が難しく、
絵画や彫刻などの造形が理解
の助けになると述べている。
そのため、空海によって唐よ
り密教美術が伝えられて以来、
わが国で制作される仏教の尊

像の種類は飛躍的に増加。そ
の多くは多面多臂の密教独特
の尊像や諸尊の集合した曼荼
羅で、密教が盛んになるにつ
れ、これら恐ろしいな形相や
鮮やかな色彩を伴った仏像や
仏画など壮麗な密教美術が展
開していくことになり、第2
章では運慶作の国宝「八大童
子像」や快慶作の重要文化財
「孔雀明王坐像」などが国
の密教美術を代表する高野山
の名宝を紹介
する。